

「異邦人の女の信仰」

新約聖書でパウロは初め、各地に住むユダヤ人だけに伝道していた。しかし頑なでイエス・キリストの救いを受け入れないユダヤ人から、聖霊により方向を変え、異邦人に伝道するようになったのである。これは異邦人の使徒パウロが最初ではない、まず主イエスが異邦人の地に行かれ、出会った女にかかわられた事により、土台が出来ていたのである。（使徒 13:46～48）

主イエスはいつも敵対し邪魔するパリサイ人や律法学者を離れ、弟子たちの教育のため、ツロ・シドンの地に向かわれた。主が弟子たちに教えようとされたのは、救いが信仰によりユダヤ人から始まり、全ての人に与えられることだったと思われる。

クリスマスに來た三人の博士は東方から來た異邦人である。神の祝福はユダヤ人だけではなく、イエス・キリストの十字架を通して、信じる者全てに与えられる大きな恵みである。私たちもイエス・キリストの十字架を信じる信仰により、「血によってではなく、肉の望むところでも人の意志によってでもなく、ただ、神によって」生まれさせていただいたのである。（ヨハネ 1:13）

[聖書の学び]

ツロ・シドン＝ガリラヤの北、現在のレバノンの港のある地域

I、異邦人の地の主イエス

（マタイ 15:18～22 p31）

1、パリサイ人や律法学者が宗教上の「手洗い」のことで主イエスを訴えて來ました。主は何と言われましたか。（マタイ 15:18）

2、主イエスはユダヤ人が汚れていると思っていた異邦人の地に行かれました。出会ったカナン人の女は何をしましたか？（マタイ 15:22）

（カナン人…異邦人である事を強調するため、旧約の敵の民族、先住民を指す呼び方）

①彼女が叫んだ主イエスの名前…

（ダビデの子＝ユダヤ人がメシヤを認める呼び方）

②彼女の訴え…

③彼女の窮状…当時、ラビである外国人の男性に女性が声をかけることはありえない。普通は夫や父親が表に出るがそうでないのは、夫がいない場合である。

II、主イエスの対応

（マタイ 15：23～26）

1、困っているカナンの女に、主イエスはどうされましたか？

①一言もお答えにならなかった。（マタイ 15:23）

②後ろに付いて来て、叫んでもお答えにならない。



- ・ 女の信仰を試されたのか？
- ・ 神の計画に人間が従うためなのか？
- ・ 父なる神のみこころを求めて、主イエスが沈黙されていたのか？

2、弟子たちが取りなしに、主イエスは何と言われましたか？

(マタイ 15:24)

失われた羊 = ユダヤ人

3、必死の女への、主イエスの対応はどうでしょう？ (マタイ 15:25、26)

①子どもたちのパン = **ユダヤ人に用意されているもの** は取り上げてはならない。

②小犬 = **家でかわいがられている、かわいい犬**

：

キュナリオン

当時のユダヤ人はキュオン＝犬はゴミをあさる汚い動物とみなした。しかし主はこの犬と呼ばれず、キュナリオン＝小犬と言われた。

Ⅲ、主イエスに褒められたカナン人の女 (マタイ 15 : 27～29)

1、カナン人の女 (小犬) の信仰

①小犬は主人にかわいがられ、いつも養って頂ける…必ず、良くして頂ける。

②主の食卓から落ちるパンくずの価値…絶大で、物凄い効力がある。

娘は助かります。(マタイ 15:27)

2、彼女の信仰を、主イエスはどのように褒められましたか。

(マタイ 15:28)

3、この女が帰ると、主はガリラヤにさっさと戻られた。主の目的は彼女との出会いであった。(マタイ 15:28)

【祈り】異邦人である私が、救いに導いて頂いたことは特別なことであつたと知りました。

主が私をかわいい者として見て下さることを感謝します。

更に主に喜ばれ、信仰に励む者になしてください。主の御名により祈ります。アーメン

* **ディスカッション** (心を開いて互いに話し合ってみましょう)

Q. 今日の学び、「私たちの信仰に答えてくださる主イエス」について、思うこと、教えられたことを、分かち合いましょう。